

大野 岳

教育目標 「ふるさとを愛し 志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和 5 年 3 月 2 日発行 文責 校長 大島 和子

◎ステージの区切りの式を行いました。

4・3・2制をとっている本校では、4年生、7年生、9年生がステージリーダーとして下級生を引っ張ってくれています。2月24日の授業参観時に、4年生、7年生が次のステージに向けての式や会を行いました。

<7年：立志式>

立志式は、ステージⅡからステージⅢへとうつる7年生が、将来の夢や目標を「志」として明らかにし、その達成に向けて努力し続けることを自分自身に、そして保護者の皆様に誓うために行いました。

一人一人が「志」とその志をもった理由、志を達成するために何をするのかを堂々と誓っていました。式後には、保護者からの手紙を読み、自分のこれまでの成長や保護者の思いをかみしめていました。



<立志式のようす>

<4年：10歳のちかい>



<10歳のちかいのようす>

「10歳のちかい」では、昨年度までの「1/2成人式」を継承した形でステージⅠからステージⅡへとうつる4年生が、将来の夢を誓い、保護者へ感謝の言葉を伝えました。歌の披露や児童と保護者の手紙の交換も行いました。保護者からの手紙を読んで、涙ぐむ児童もあり、感動的な「10歳のちかい」となりました。

◎AIドリル（LINES）を活用しています。

今年度7月より、個別最適な学びの手立ての一つとして、AIドリルを導入しました。導入から半年が経ち、児童生徒にAIドリルの使用に関するアンケートを実施しました。ステージⅡ・Ⅲへの「AIドリルでの学習は授業の復習や予習をするのに役立っていると思いますか。」という質問には、89%が肯定的な回答をしています。また、「これからもAIドリルを使っていきたいですか。」という質問には、ステージⅠの全員が、ステージⅡ・Ⅲの92%が「使っていきたい」と答えています。その理由としては、「短い時間で特定の教科を学習できるから。」、「いろいろな教科を学習できるので、苦手教科を克服することができるから。」、「楽しく勉強できているから。」などと回答しています。

12月に実施された4～8年生を対象とした佐賀県学習状況調査においては、ほとんどの学年・教科で県平均正答率を上回りました。しかし、評価の観点の「知識・技能」に

は課題が残り、基礎的・基本的な知識の定着を図る必要があることが分かりました。

よって、この課題の解決のための手立ての一つとして、児童生徒の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習が促されるよう AI ドリルを活用していきたいと思えます。

◎ 前田 教一 様より寄付をいただきました。

5月にも寄付をいただいた前田教一様より、2月21日に再度寄付をいただきました。ありがとうございました。今回も“南波多の子どもたちのために”との思いをしっかりと受け止め、活用させていただきたいと思えます。なお、5月にいただいた寄付で、下記のものなどを購入させていただき、活用しています。



<体育館用スクリーン>



<タブレット用タッチペン>



<個人情報保護のための鍵付きキャビネット>

◎ たくさんの表彰を行いました。

おめでとう！

前回（第7号）以降も、たくさんの表彰を行いました。地区特選以上を紹介します。

- 学童美術展 県特選 8年 H・Nさん
県準特選 7年 M・Iさん、9年 Y・Aさん
- 伊万里・有田地区防火ポスター
最優秀賞 9年 M・Kさん
優秀賞 9年 N・Kさん、
8年 M・Nさん、M・Yさん
- 第23回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール
海上保安協会唐津支部長賞 8年 H・Nさん
唐津海上保安部長賞 7年 T・Tさん
優秀賞 9年 M・Yさん
- 社会を明るくする運動作文コンクール 県審査 入選 9年 M・Aさん
- 中学生の税についての作文 税務署長賞 9年 M・Mさん
- 新春読書感想文コンクール 地区審査 特選 7年 M・Iさん
- 新年書き方会 地区審査 硬筆の部 特選 7年 M・Yさん
- 学童美術展覧会 立体の部 県審査
特選 3年 M・Mさん、8年 H・Nさん
準特選 6年 E・Tさん、7年 T・Tさん
8年 M・Tさん、M・Mさん、9年 M・Rさん
- 全国教育美術展 全国審査 特選 8年 H・Nさん

◎ 第5回卒業証書授与式を挙ります。

3月10日（金）に、4年ぶりに来賓の皆様をお招きして卒業式を行います。